

令和4年度決算について

当初248億8千万円でスタートした予算は、11回の補正を行い、26億8,669万1千円を増額し、また前年度からの繰越額14億1,919万5千円を加え、最終的には、289億8,588万6千円となりました。

歳入において、個人・法人市民税ともに新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあり、増収となりました。

歳出においては、物価高騰等による、市民生活や事業者への多大な影響を緩和するための支援として、キャッシュレス決済を活用した消費喚起事業、学校給食費等物価高騰対策及び省エネ機械設備等導入補助などを実施しました。また、佐吉の郷・スタートアップ支援事業による市内の創業者に対する支援や子育て世帯に対する支援を拡充するなど、更なる『職住近接』による持続可能な発展に向けた施策を着実に推進しました。

I 決算の状況

1. 決算規模

令和4年度の一般会計は、

歳入 280億2,582万8千円（前年度 268億5,652万 円）

歳出 257億1,896万7千円（前年度 250億3,823万9千円）

となり、前年度に比べて歳入は11億6,930万8千円の増加（+4.4%）、歳出は6億8,072万8千円の増加（+2.7%）となりました。

歳入歳出差引額（形式収支）23億686万1千円から、繰越明許費の翌年度へ繰り越すべき財源3億4,434万7千円を差し引いた実質収支は、19億6,251万4千円で、単年度収支は、2億9,934万5千円となりました。

表－1 最近5か年の収支状況

（単位：千円）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入決算額	21,554,398	23,518,147	29,865,485	26,856,520	28,025,828
歳出決算額	19,961,576	21,722,107	27,702,074	25,038,239	25,718,967
歳入歳出差引額 （形式収支）	1,592,822	1,796,040	2,163,411	1,818,281	2,306,861
翌年度へ繰り越すべき財源	228,239	216,535	204,579	155,112	344,347
実質収支	1,364,583	1,579,505	1,958,832	1,663,169	1,962,514
単年度収支	19,113	214,922	379,327	▲ 295,663	299,345
積立金	269	211	67	71	66
繰上償還金	0	0	0	0	0
積立金取崩し	630,000	525,708	360,174	969,326	1,150,138
実質単年度収支	▲ 610,618	▲ 310,575	19,220	▲ 1,264,918	▲ 850,727